

平成26年度研究科横断型教育プログラム（Bタイプ）授業科目

開講方式	Bタイプ (特別開講型)	研究科等名	健康長寿社会 の総合医療開 発ユニット	横断区分	文理横断型	開講場所	医学部構内 G棟2階セミナー室 A		
授業科目名 (英訳)	医療経済論 (Health Economics)			講義担当者 所属・氏名	白眉センター 特定准教授 後藤 励				
配当学年	修士	提供可能 コマ数	5コマ	開講期	後期	曜時 限	木3限 (13:00-14:30)	授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕									
<p>【概要】 生命や医療に関する技術革新は、健康の改善や新しい産業の創出を通して社会の厚生改善に結びつく可能性を持っている。医療システムは、先進国では多かれ少なかれ社会保険料や税といった公的資金が財源となっている。そのため、個々の技術の費用と健康改善に対する効果を示すことが求められている。一方、経済全体を見ると技術の伝搬や産業の創出が経済成長にどのような影響を与えるかが注目される。 本科目では、まず医療供給制度や医療財政についての概説から始め、技術に関する経済評価、技術革新の経済全体に対する影響を学ぶ。特に、経済評価のシミュレーションや計量経済学的手法を用いたデータ分析の実習を通して、問題解決に通じる実証的な方法論の習得も同時に目指す。</p> <p>【研究科横断型教育の概要・目的】 世界一の高齢社会を迎える我が国では、健康を支える社会システムをどのように設計していくかが急務である。その際、社会経済全体の中で、保健・医療・介護がどのような位置づけになっていくかを学ぶことは、幅広い学術分野を専門とする学生にとって有益だと考える。</p>									
〔授業計画と内容〕									
<p>授業計画と内容 主なトピックは以下の通り。下記の項目の概説を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療需要 2. 医療供給体制 3. 医療財源論 4. 医療制度の国際比較 5. 医療従事者の労働供給 6. 保険制度とインセンティブ 7. 医療技術の伝搬 8. 医療技術の経済評価 9. 医療技術のマクロ経済への影響 									
〔履修要件〕									
特になし									
〔学修証授与の要件〕									
全回出席、授業への積極的な参加									
〔教科書〕									
〔参考書等〕									
開講時に指示する									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕									